

(様式3)

5 今年度の重点課題 (学校アクションプラン)

令和3年度 富山県立水橋高等学校アクションプラン - 1 -	
重点項目	学習活動
重点課題	主体的に学び考える力の育成
現 状	昨年度に実施した授業アンケートでは、約6割の生徒が「ほとんどの教科が分かる」「分かる教科が多い」と回答した。一方で、与えられた指示・課題に取り組むだけの、受け身な姿勢で授業・学習に臨んでいる生徒が少なくない。3年生のみの在籍となる今年度は、生徒の進路実現に向けて、基礎学力の定着を図ることはもちろんだが、生徒がより主体的・発展的に学習に取り組み、深い学びを進めていけるよう、授業研究をさらに活発化していく必要がある。
達成目標	①「分かる」授業をめざす。 ・「授業についてのアンケート」で、より多くの生徒が「ほとんどの内容が分かる」「分かる内容が多い」と回答できるようにする。 ・ICTの活用をさらに進めるなど、生徒が学ぶ楽しさを実感できるような、授業の工夫と実践を行う。
	②授業改善に努め、深い学びをめざす。 ・思考力・判断力・表現力を育成していく授業を行うため、校内での研修をさらに充実させる。 ・他校やオンラインでの研修会に積極的に参加して、研修を深める。 ・授業アンケートを通して、教員が授業改善に努めるとともに、生徒が自分自身を振り返る機会とする。
方 策	1 面接や個別指導をより充実させ、個々の生徒に応じた細やかな学習指導を行う。 2 授業展開と予習・復習のあり方、課題の出し方や添削指導などに工夫を重ね、学習意欲の向上や、発展的学習につなげていけるよう努める。

重点項目	学校生活	
重点課題	心身の健康増進と安全意識の向上	
現 状	<p>1 元気で素直な生徒が多く、落ち着いた雰囲気、学習、部活動、学校行事にと頑張っている。しかし、人間関係（友人・家族等）や学習に悩んでいる生徒も少なくない。</p> <p>2 昨年度の交通事故件数は3件であった（R元年度は7件）。3件とも登校時、自転車と車との接触事故であった。これらの事故はルールを守った状態で起きており、事故を避けるためには、生徒自身が危険を予測する力を身に付ける必要がある。</p> <p>3 昨年度、延べ256人（一人あたり1.09回/年）の遅刻者がいた。朝のS T時に登校する遅刻者が増加した。不調を抱えながらも遅れて登校する生徒が見られた。</p> <p>4 校内でスマートフォンによるインターネットゲームをする生徒がいた。</p>	
達成目標	<p>① 生徒の「こころ」の成長や人間関係づくりに関する体験学習、専門家によるカウンセリングや講習会を実施する。 （対象：生徒、保護者、教職員） ・個別カウンセリング 年9回実施</p>	<p>②交通事故の発生件数 1年間の交通事故 ゼロ（0）件 ③遅刻件数 一人あたり0.5回以下</p>
方 策	<p>1 人間関係づくりを目的としたHRを実施する。</p> <p>2 担任だけでなく、部活動顧問も面談を心がける。</p> <p>3 学年、部顧問、生徒指導部、環境保健部が連携して共通理解を図り、早期対応を図る。</p> <p>4 スクールカウンセラーによるカウンセリングを継続し、必要に応じてスクールソーシャルワーカーによる支援を実施する。</p>	<p>1 自転車通学者への呼びかけ （朝5分早めの出発、雨天時の傘さし運転の禁止、運転中のイヤホン・携帯電話の禁止等）</p> <p>2 危険個所における交通安全指導を継続する。（毎月1日、15日登校時間帯）</p> <p>3 朝学習開始に合わせて遅刻指導をする。</p> <p>4 遅刻の多い生徒には面談を行い、指導と支援に努める。</p> <p>5 巡視によりスマートフォンの「授業時間電源off」の徹底に努める。</p>

令和3年度 富山県立水橋高等学校アクションプランー3ー

重点項目	進路支援	
重点課題	進路実現に向けた進路意識の向上	
現 状	<p>1 自己の能力・適性を把握することの不十分さから、多様な選択肢の中から主体的に進路を選択する力が不足している。</p> <p>2 進路実現に向け、困難に挑戦する姿勢や最後まで粘り強く学習を継続する力が十分でない。</p>	
達成目標	<p>① 高校生活を通して生徒が自ら満足な進路選択を達成できたか。 卒業時 ほぼ満足度 90%以上</p>	<p>② 年間の面接指導の回数 (通信機器での面談も含む) 3学年 年間6回以上</p>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3学年では、進路ガイダンスや講演会を計画し進路意識を高めていく。実施後、将来の職業について考えさせたり学部や学科を調べさせたりして自分の目標を見極めさせる。 ・ 小論文模試及び添削・面接指導を適宜行い受験に備えて実践的内容を実施していく。 ・ 早期に目標を明確化できるようにオープンキャンパス、学校説明会等に可能な限り参加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学習時間調査」や生徒の現状と問題点を把握し、生徒一人ひとりの実態に合わせて生活や学習習慣に関してアドバイスをする。 ・ 定期考査・校内模試・外部模試の成績返却時に適宜面接を実施し、学習や進路に関する指導助言を行う。 ・ 進路指導委員会などで情報交換を行い、生徒の能力・適性・理解度等の把握に努める。 また、必要に応じて教科担当者・顧問による面談も行う。 ・ 保護者会等を通して、学年の進路指導方針について保護者の理解と協力を得る。

重点項目	特別活動	
重点課題	① 生徒会を中心とした学校行事への主体的な取り組みと、統合先高校と連携しながらの部活動全体の活性化	② 図書館利用の促進と読書活動の向上
現 状	<p>1 学校行事(体育大会、文化活動発表会、球技大会など)を生徒の企画・運営を尊重しながら指導している。生徒数減により各種行事の規模が縮小されている。</p> <p>2 部活動では体育コースの6種目を中心に競技力の向上を図っている。いくつかの運動部は富山北部高校と合同で行っており、交流・連携をとりながら対外的に優れた成果・成績が期待されている。学年が減少し活動が縮小している中、積極的に活動している様子が見られる。</p>	<p>1 ほとんどの生徒は各教科の学習や週末課題、部活動など、やらなければならないことが多く、読書に向ける時間が少ない。</p> <p>2 携帯電話やスマートフォンの普及による活字離れが強く、「読む力」や「考える力」など自ら学ぶ姿勢が身につけていない傾向がある。</p> <p>3 面接・小論文対策で図書を活用する生徒が多いが、適切な書籍を選ぶことのできない生徒が多い。</p>
達成目標	① 生徒の学校行事への満足度7割をめざす	② 生徒1人あたりの年間貸出図書冊数平均1.5冊以上(過去5年間の平均)
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会の活動について、細やかな支援、指導を行う。生徒が参加しやすい時期に行事を行い、活動に集中しやすい環境を作る。 ・各部において部活動指導員やテクニカルエキスパートの活用、外部講師の指導により、技術・理論等の習得を図る。 ・よりよい環境で部活動が実施できるように、施設・設備などハード面の充実に努める。 ・富山北部高校との連絡、調整に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部や教科と連携して図書館利用の促進を図る。 ・図書委員作成の宣伝用ポップを活用し図書館利用をアピールする。 ・広報誌「らいぶらりい」の記事を工夫して、利用を呼びかける。 ・図書館利用を促進させるため一回の貸出期間を2週間とする。

重点項目	その他
重点課題	水橋高校最後のPTA活動の充実と活性化
現 状	<p>1 P T A総会や全体研修会等P T Aの各行事への参加者は数字的には概ね目標に届いているが、保護者全体の参加意識という点では必ずしも十分とは言えない。</p> <p>2 年々、雰囲気盛り上がりつつあるが、学校主導になりがちであり、保護者主体のP T A活動に転換していく。</p>
達成目標	P T A役員会・P T A総会・P T A全体研修会への参加数の割合 役員会；60%以上、総会；40%以上、全体研修会；40%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度役員にプラスして、役員の人数を増やす。 ・活発な運動部の保護者に、P T A役員を依頼する。 ・新しく、副会長を1名以上増やす。 ・P T A役員会の開催日時を見直し、P T A役員の参加しやすい日時を設定する。 ・学校側の関与を減らし、研修会や座談会を企画する段階から積極的に関わってもらうよう、常にアイデアを募集する。 ・役員間の連携を強めるために、より機動的な組織作り、組織運営を実践するため、P T A会長にライングループを作成してもらい、細かい情報を常に共有していく。 ・昨年度P T A副会長には、今年度P T A顧問になってもらい、助言してもらい、P T Aの情報も積極的に流していく。 ・球技大会・芸術鑑賞会・文化活動発表会の合間に、P T Aにも出店など企画してもらう。 ・P T A役員会後の懇親会に積極的な参加を促し、会員相互の親睦を深め、誰もが参加しやすいP T A活動を推進し、やって良かったP T A活動にしていく。